町民活動施設（調理研修室・スタジオ・多目的室）の使われ方・仕様確定にむけて

基本方針

町民活動施設（調理研修室・スタジオ・多目的室）は、現福祉センターで行われている様々な活動、および町内の他の施設で行われている活動を想定する。

活動内容を調査･分析し、また、本施設ができることで、新たな活動が生まれることも考慮した上で、多目的室の部屋数および仕様を計画していく。

1 階　調理研修室

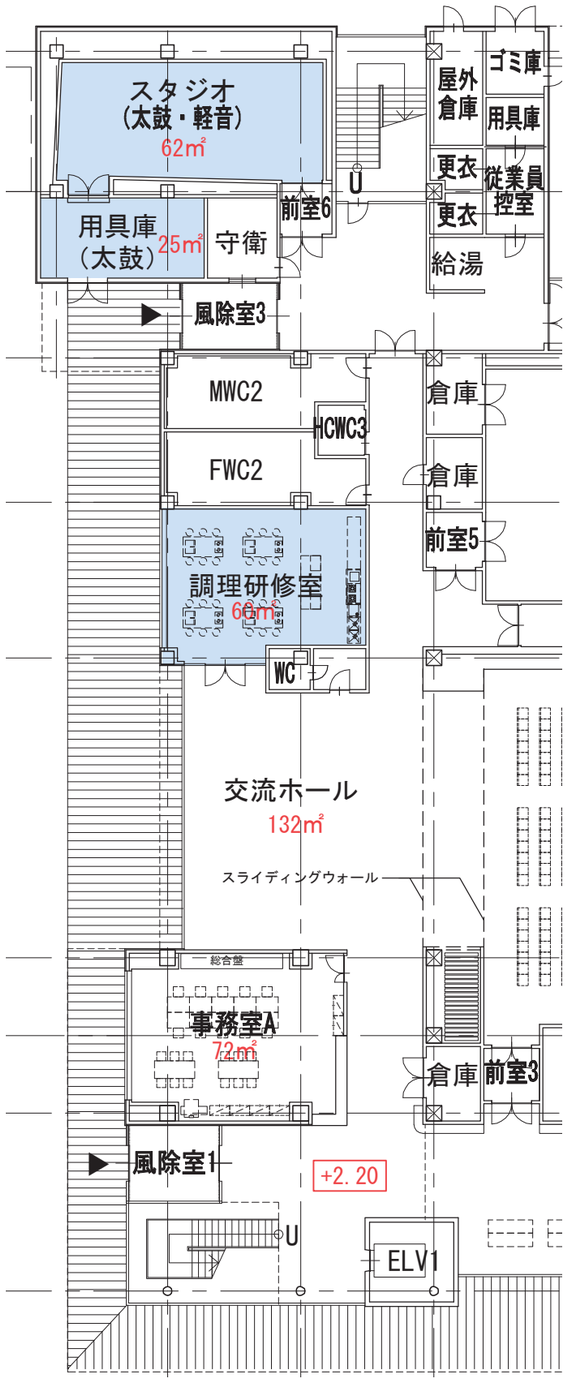
- 24 名　　約 60 ㎡
- 災害時の炊き出し可能。
- 小ホール～交流ホールで行われるビアパーティー等と連携した使用が可能。

調理研修室イメージ

1 階　スタジオ
2 階　多目的室 1（音楽系）

- 約 62 ㎡（スタジオ）、約 54 ㎡（多目的室 1）
- 音楽・演奏等の音出し可能は多目的室として計画。
- 1 階スタジオは用具庫（太鼓）を隣接配置し、外部への搬出入がしやすい計画とする。
- 吹奏楽のパート練習でも利用可能。

スタジオ、多目的室 1 イメージ



1 階平面図

2 階　多目的室 2（製作系）

- 36 名　　約 66 ㎡
- 製作が行える設えとする。
- 隣接して倉庫を配置し、室内には水場を検討。

多目的室（製作系）イメージ

2 階　多目的室 3（情報系）

- 16 名　　約 58 ㎡
- PC 研修等が行える設えとする。
- OA フロアを検討。
- 視聴覚室としても利用可能とする。

多目的室（情報系）イメージ

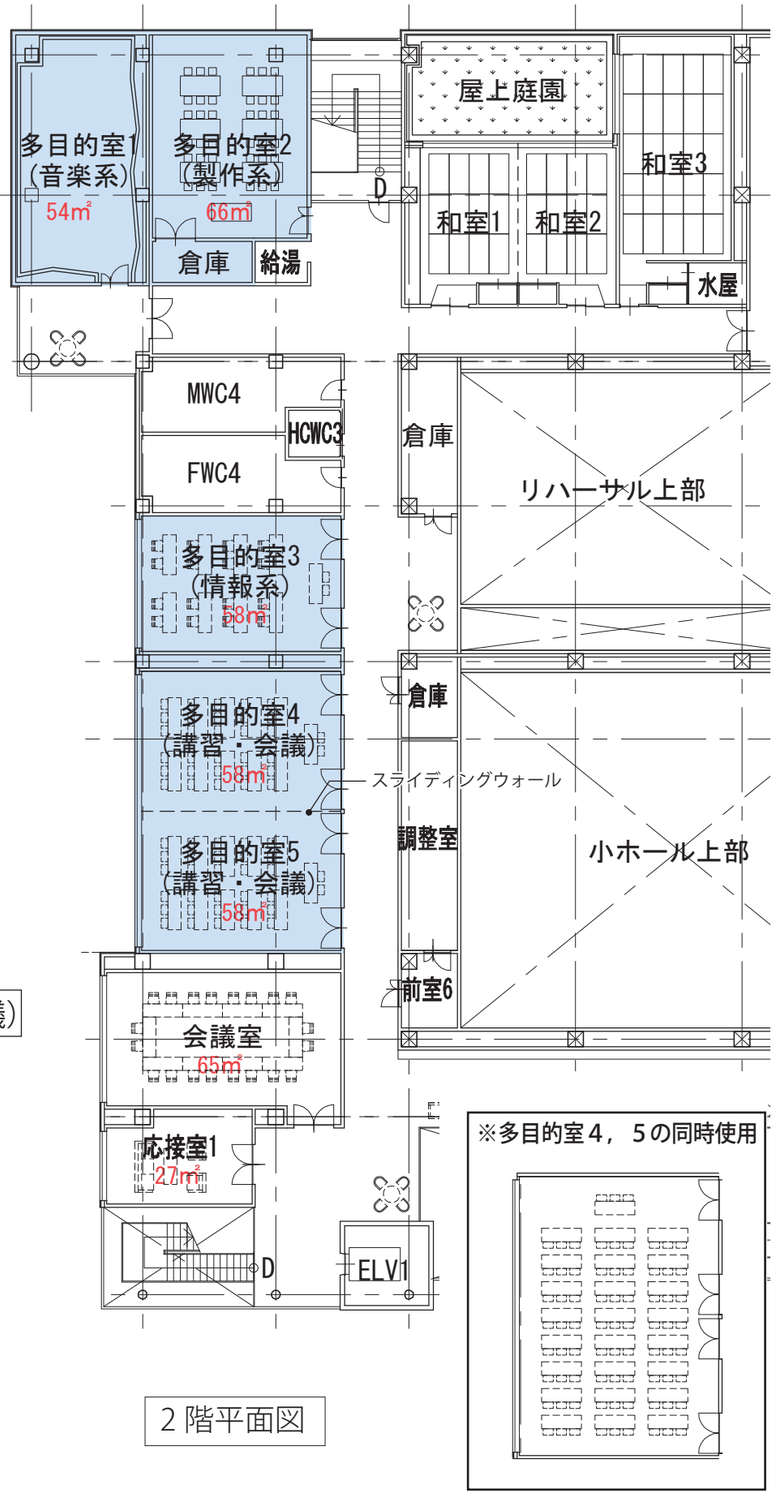
2 階　多目的室 4，5（講習・会議）

- 30 名　　約 58 ㎡
- 同時利用の場合　72 名

※スライディングウォールの収納方法・位置により変動あり

- OA フロアを検討。
- スライディングウォールで同時利用可能。

多目的室（講習・会議）イメージ



2 階平面図

※多目的室４，５の同時使用

石本・日本都市設計共同企業体